

A 募集の趣旨・目的及び背景、案の概要・論点等

1. 案を作成した趣旨、目的及び背景

人口減少・高齢化が進行する中、大麻町では、商店の撤退や希薄化する地域の繋がり、高齢者などの移動ニーズへの対応など、様々な課題が深刻化しています。こうした人口減少を要因とした、地域活力の低下を前提に、それでも大麻町に住むことが幸せだ、住み続けたいと思える、町の方向性やビジョンを描き、各種取組を推進していく必要があります。

令和7年4月に、(仮称)大麻町総合防災センターの整備や徳島県公立高等学校普通科の学区制の廃止など、大麻町を取り巻く環境の変化等を見据え、地域課題やその解決方法に関する意見集約、それらに関連する事業実施に向けた検討を行う場として「大麻町未来づくり会議」を設置しました。

そこで、町に住む人の利便性や満足度を高めるとともに、町外の人からも魅力的に映るよう、取組を進めるため、大麻町未来づくり会議を中心に地域の将来像となる大麻町ランドデザイン(素案)を作成しました。

このたび、素案を公表し、市民の皆さんから広くご意見を募集します。お寄せいただいたご意見は今後の検討の参考とし、令和9年3月頃を目途に「大麻町ランドデザイン」として取りまとめる予定です。

2. 案の概要

(案の概要について記述)

本ランドデザインは、人口減少などの社会状況や、大麻町が有する歴史文化資源などの地域特性、そして町民アンケートや未来づくり会議の意見等も踏まえながら総合的に整理し、大麻町の将来像やまちづくりの方向性を示すとともに、今後のプロジェクトの方向性や可能性を示したものです。

今、町が直面している課題に対応していくために、生活利便性の確保・産業振興・地域コミュニティの活性化・観光振興を4つの柱として、町民の幸福度の向上に資するプロジェクトを短期・中期・長期の期間ごとに分けて掲載しています。

《コンセプト》

はじまりを^{かも}醸す 大麻町

《5つの基本方針》

1. 行政が最初の一步を踏み出す。
2. 「生活利便性の確保」を「はじまりの土台」とする
3. 「関わり始めたくなる暮らしの舞台」をつくる
4. 暮らしと活動の重なりから「地域の価値」を高めていく
5. 技術革新を視野に入れた柔軟な対応

なお、掲載しているプロジェクトは、まちづくりの方向性を示す具体例や可能性として整理したものであり、現時点で実施を決定しているものではありません。関係者との各種調整や地域住民の意見などを踏まえながら、個別事業として具体化を検討していきます。

3. 案を作成する際に整理した論点及び鳴門市の考え方

本グランドデザイン（素案）の作成にあたっては、「大麻町未来づくり会議」での議論や市民アンケート等により、現状の大麻町が抱える課題やまちの強みについて、意見収集を行いました。

これら意見から見えてくる課題に対し、「生活利便性の確保」、「地域コミュニティの活性化」、「観光振興」、「産業振興」の4つの柱を切り口として課題解決を図りつつ、各柱を横断的に繋ぎながら、新たな人の流れや地域内経済循環、担い手の創出などの好循環を生み、幸福度の高い地域の実現を目指すこととしました。

以上を踏まえ、大麻町グランドデザイン（素案）を作成しました。